

名称と時期 1. **天平文化** 8世紀 ※「天平」は聖武の年号

特色 ①仏教文化…国家仏教的性格が強い 2. **鎮護国家**の思想 ※民間布教は律令(僧尼令)違反

〈例〉国分寺・盧舎那大仏 護国の三経(金光明・仁王・法華)の重視

- ・ 3. **鑑真** …唐の高僧 4. **戒律** (僧の資格)を伝えるために招かれる 数度の失敗
→ 5. **戒壇** (かいだん)の設立…東大寺・筑紫観世音寺・下野薬師寺(天下三戒壇)
- 6. **律宗** を伝える→ 7. **唐招提寺** を創建
- ・ 8. **南都六宗** …三論宗、成実宗、9. **法相宗** (興福寺が中心 例: 10. 道昭, 行基, 玄昉, 道鏡)、
倶舎宗、11. **華嚴宗** (東大寺が中心)、12. **律宗** (唐招提寺が中心)
後世の宗派とは異なり、13. **学派的性格** = 教理の研究 兼学も多い
- ・ 南都七大寺…大安寺・薬師寺・元興寺・興福寺・東大寺・西大寺・法隆寺
- 一部で民衆救済 光明皇后… 14. **悲田院** (貧窮者を収容)・ 15. **施薬院** (施薬治療)の設置
- 16. **百万塔陀羅尼** (だいらに) …称徳の発願 恵美押勝の乱の犠牲者の追悼
小型三重塔に収める陀羅尼経は**現存最古の印刷物**
法均尼(和気広虫=清麻呂の姉)…孤児83人の養育

②中国 17. **盛唐** 文化の影響 ←遣唐使

③国際色豊か…インド・ペルシアなど

④歴史・地誌・文学の整理 ※国家意識の高揚 漢字による国語表記→ 18. **万葉仮名** (まんようがな)の使用

建築 19. **唐招提寺金堂** (現存唯一の天平期の金堂)、20. **唐招提寺講堂** (平城宮の朝集殿を移築)

21. **東大寺法華堂** (三月堂), 22. **東大寺正倉院宝庫** (校倉造の構造), 23. **東大寺転害門**
…… 不空羂索観音像、執金剛神像など重要な仏像多数 …… 三角の木材の組み重ね

24. **法隆寺夢殿**, 25. **法隆寺伝法堂** (聖武夫人橘古那加智の邸宅を移築)

仏像 写実的表現に優れる←唐の様式の伝来

26. **乾漆像** …粘土や木で原形をつくり、その上に麻布をはって漆で塗り固める。

〈例〉 27. **東大寺法華堂不空羂索観音像**, 27. **唐招提寺鑑真(和上)像**, 唐招提寺盧舎那仏像,

28. **興福寺阿修羅像** (八部衆像の一つ)、興福寺釈迦十大弟子像

29. **塑像** …木を芯にしてその上を粘土で固める

〈例〉 30. **東大寺法華堂日光・月光菩薩像**, 31. **東大寺法華堂執金剛神像**

32. **東大寺戒壇院四天王像** 新薬師寺十二神将像

木像もあり 〈例〉新薬師寺薬師如来像

仏教美術 絵画 33. **薬師寺吉祥天像** 過去現在絵因果経…釈迦の前世と伝記 絵巻物の源流

彫刻 東大寺大仏殿八角灯籠 東大寺蓮弁毛彫釈迦など

正倉院宝物(御物) …聖武の遺品など 勅封による保存 東西文化の交流

〈例〉³⁴**鳥毛立女屏風** …樹下美人図(唐・シルクロードの影響) ヤマドリの毛

正倉院文書…写経所関係文書、戸籍・計帳など約1万点

伎楽面、ぎがく白瑠璃碗はくるりわん、漆胡瓶しっこへい、螺鈿紫檀五弦琵琶らでんしたん など

歴史と地誌 ☆^{ていぎ}「帝紀」^{きゅうじ}「旧辞」の整理→天皇支配の正当性を強調するなどの作為

『³⁵**古事記**』712年成立[元明]

天武の命令で³⁶**稗田阿礼**が誦習→³⁷**太安万侶**が筆録

『³⁸**風土記**』713年に編纂命令[元明]…諸国の地理・歴史・産物など

現存するのは、³⁹常陸・出雲・播磨・豊後・肥前(五風土記) ※出雲はほぼ完全に現存

『³⁹**日本書紀**』720年成立[元正]…^{とねり}舎人親王ら編纂 編年体(年月順に記載する形式) ↔紀伝体

→以降、10世紀まで継続…⁴⁰**六国史**

和歌 『⁴¹**万葉集**』…最古の和歌集 長歌・短歌・旋頭歌・仏足石歌など4500余首

庶民の歌も 〈例〉⁴²**東歌**(東国の農民)・防人歌

主な歌人 山部赤人、山上憶良、大伴旅人、⁴³**大伴家持**(編者?)

漢詩文 『⁴⁴**懷風藻**』(751)…最古の漢詩集 六朝～初唐時代の詩の影響 大友皇子ら

⁴⁵**淡海三船**…『唐大和上東征伝』(^{しこう}鑑真の伝記)を著す 歴代天皇の諡号を決める

⁴⁶**石上宅嗣**…私邸に⁴⁷**芸亭**を作り開放(最古の図書館)

正誤問題練習 〈大学入試センター1992年追試、1998年A本試験より〉

- ① 唐から鑑真が招かれ、東大寺で僧尼らに戒律を授けた。
- ② 正倉院宝庫には、西域の影響がみられるガラス製品などが伝えられ、奈良時代の宮廷生活が国際色豊かなものであったことがうかがえる。